

# 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会

## 第11回例会

### 議事次第

日時：平成22年7月15日（木）

13:30～15:30

場所：箕面市役所（2階）特別会議室

#### 議題：

1. バス停の新設に関する要望について
2. 道標類の現状把握と整備について
3. シカ害対策について
4. 自然休養林のPR、普及啓発について
5. その他

## 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会委員名簿

(委員)

平成22, 7, 15現在

所属機関・団体名等	役職	氏名	
NPO法人 自然と緑	顧問	河野 猪太夫	
NPO法人 日本森林ボランティア協会	事務局長	山本 博	事務局
NPO法人 みのお山麓保全委員会	事務局長	高島 文明	
清水谷をまもる会	代表	佐中 一彦	
箕面観光ボランティアガイド	副代表幹事	唐木 実千成	
箕面こう楽会	代表	鎌谷 計三	代表
箕面里山工房	会長	森明 一夫	
みのお里山ふれあいプラットフォーム	会長	米田 和男	
箕面ナチュラルistクラブ	幹事	中野 皓三	監事
箕面の森観察会	代表幹事	小西 澄子	
箕面の山パトロール隊	隊長	奥村 裕子	

(行政関係委員)

所属機関・団体名等	現職	氏名
大阪府北部農と緑の総合事務所	緑地整備課長	小橋 達夫
(独)森林総合研究所関西支所	主任研究員	奥 敬一
箕面市教育センター	指導主事	角谷 正朝
箕面市教育委員会 生涯学習部 文化財保護担当	専任参事	河原 弘明
箕面市農とみどり政策課	課長	野澤 昌弘
箕面森林環境保全ふれあいセンター	所長	清水 好美
箕面ビジターセンター(府みどり公社)	所長	木山 雅博

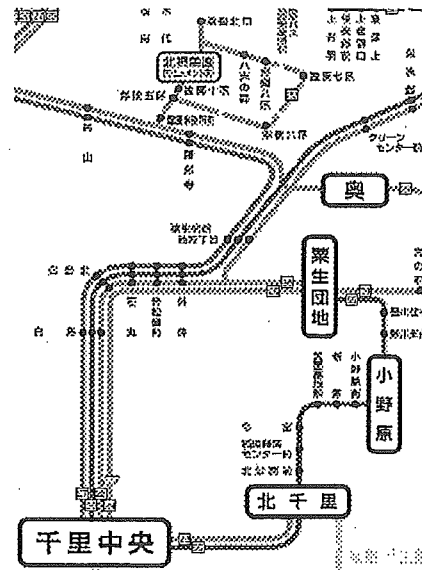
(相談役)

所属機関・団体名等	現職	氏名
京都大阪森林管理事務所	所長	福田 淳

(団体名の五十音順、敬称略)

1、明治の森箕面自然休養林へのアクセスについて

- ①、明治の森箕面自然休養林の来訪者数
  - 1)、エキスポ90箕面記念の森・・・年間約3万人
  - 2)、ビジターセンター・・・年間約2万人
  - 3)、政の茶屋園地・・・年間約10万人(推定)
- ②、明治の森箕面自然休養林へのアクセス
  - 1)、車の場合・・・阪急箕面駅から約25分
  - 2)、徒歩の場合・・・
    - 阪急箕面駅から約2時間～2時間30分
- ③、公共交通を利用したアクセス
  - 1)、阪急バスの運行



千里中央～(栗生団地経由) 勝尾寺～北摂霊園

- ・平日(特急)北摂霊園・希望ヶ丘四丁目行  
3本(千中9:10、11:15、14:15発)
- ・土曜日(特急)北摂霊園行  
3本(千中10:05、11:10、13:10発)
- ・土曜日(特急)北摂霊園・希望ヶ丘四丁目行  
3本(千中9:00、12:10、14:45発)
- ・日・祝日(特急)北摂霊園行  
4本(千中9:00、9:55、10:55、13:10発)
- ・日・祝日(特急)北摂霊園・希望ヶ丘四丁目行  
2本(千中12:10、14:45発)

公共交通を利用したアクセスの悪さが、明治の森箕面自然休養林への交流人口が増えない原因と考えられる。大都市近郊に位置する箕面の豊かな自然環境に対して、多くの市民・府民が触れあう事が困難な状況となっている。

エキスポの森及びビジターセンターへの来訪者を増やすためにはアクセス改善が重要。

2)、バスの運行について

北摂霊園の経営主体:(財)大阪府タウン管理財団

・・・阪急バス(株)に補助金を支出して、路線便の持続的な運行を支援している。

事業採算性を無視して新規路線でのバス運行を要請する事は困難であり、当面の目標として、同じ路線内でのバス停新設による自然休養林へのアクセス改善を図る。

2、箕面市との「協働」の取り組みについて

①、箕面市との「協働」の取り組み

地域の活性化を担う箕面市地域創造部(交通政策課)と明治の森箕面自然休養林管理運営協議会が「協働」の取り組みにより推進する。

②、阪急バスとの協議について

既に、箕面市交通政策課から阪急バスに打診を開始しているが、2010年9～10月期に本協議会と箕面市が協働の立場により、阪急バスとの協議に入る。

\* 別添えの要望書・・・箕面市交通政策課と協議の上、必要であれば提出する。

3、バス停新設についての課題と本協議会の対応について

①、需要予測の取り組み(案)

バス停新設を実現するためには、単に本協議会が要請するだけでは不十分であり、市民府民のバス利用のニーズがある事を、具体的に数字で表す事が必要。(交通政策課より)

⇒ 「アンケート」の実施?

②、バス利用者数増のためのPR・広報(案)

実際に多くの市民・府民にバスを利用してもらうためには、バス停設置のPR・広報が重要。本協議会としても具体的なアクションを阪急バスに提示・訴求する必要がある。

1)、ホームページでの公共交通によるアクセスの訴求

⇒ 「ビジターセンター」、及び「箕面公園」等、各団体のホームページでの訴求

2)、多様な媒体を活用しての明治の森箕面自然休養林のPR・広報

⇒ 自然休養林の案内パンフの作成など

4、その他の課題

①、バス停の設置場所の検討

トンネルの前後やカーブなどは設置が困難 \* 最終的には警察の許可が必要

②、バス停設置の費用

スタンド式の場合は、数万円程度の費用と推定される。

時刻表変更にも多大の費用が必要であり、阪急バスの全社的な時刻表改訂時が実施時期。

以上

明治の森箕面自然休養林（箕面国定公園）について、みなさんの声をお聞かせ下さい！

明治の森箕面自然休養林管理運営協議会は、明治の森箕面自然休養林を多くの市民のみなさんに親しんでいただけるようにするための活動を行っています。  
ぜひ、アンケートにご協力をお願いします。

問1. 明治の森箕面自然休養林へ、何でこられましたか。

1. 徒歩      2. 車      3. バス

問2. 明治の森箕面自然休養林へ来るための、交通アクセスはいかがでしょう。

1. とても便利    2. 便利    3. 普通    4. 不便    5. とても不便

問3. 箕面川ダム周辺にバス停が設置されれば、利用したいですか。

1. ぜひ利用したい    2. 時々利用したい    3. わからない    4. 利用したくない

問4. 明治の森箕面自然休養林について気が付いた事があれば、教えてください。  
(いくつでも)

1. 道標・案内板を整備してほしい      2. わかりやすい地図がほしい  
3. トイレの数がすくない      4. ベンチや休憩所の数がすくない  
5. もっとイベント（自然観察会など）をしてほしい  
6. その他（ご自由に、気が付いたことを書いてください）

問5. あなたご自身についてお聞かせください。

- 1) 性別 （ 男性 ・ 女性 ）  
2) 年齢 （10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代～）  
3) お住まい（                      市）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

阪急バス株式会社 御中

平成22年7月6日  
明治の森箕面自然休養林管理運営協議会  
代表 鎌谷 計三

－ 明治の森箕面国定公園におけるバス停（箕面川ダム）新設に関する要望書（案） －

現在、明治の森箕面国定公園内を通る公共交通機関は阪急バス（千里中央～北摂霊園）のみであり、国定公園内の停車箇所は北摂霊園を除くと勝尾寺の1箇所だけとなっており、国定公園内の散策路やビジターセンター、遊歩道の整備された箕面川ダム、エキスポ90箕面記念の森などへの来園者に対して、著しく利便性を欠いた状態となっています。

明治の森箕面自然休養林管理運営協議会は、豊かな自然を有する国定公園内の交流人口増を目指して活動を推進しており、今般、千里中央～北摂霊園ルートにある箕面川ダム付近に、新たな駐車場を設けていただきたく要望する次第でございます。

多様な動植物に恵まれた箕面国定公園は、大都市近郊の自然公園として親しまれ、毎年多くのハイカーや観光客が訪れています。公園を代表する景勝地のひとつである箕面大滝には市街地から徒歩で約50分、また車では、約10分で滝駐車場まで行くことが出来ることもあって、年間100万人以上の人々が訪れています。

しかし、箕面大滝を含む府営箕面公園は国定公園の一部であり、国定公園に指定された後に整備されたハイキング道（自然研究路2号線～8号線）や東海自然歩道などの自然散策路、国定公園のインフォメーションセンターであるビジターセンター（博物館、図書館を併設）と政の茶屋園地、箕面川ダム、エキスポ90箕面記念の森など、国定公園には自然に親しむことが出来るさまざまな場が提供されています。

現在、これらへのアクセスはマイカーと徒歩の2通りの方法であり、市街地から最も離れているエキスポ90箕面記念の森へは、車では25分程度で行くことが可能ですが、徒歩の場合は、阪急箕面駅から片道2時間～2時間30分程かかる状態となっています。

車を持たない人やハイキングを楽しみたい高齢者などには高いハードルであり国定公園の豊かな自然の一部しか享受できない状況になっています。交流人口の増加や地域の活性化の為に、また一人でも多くの市民に、豊かな自然のすばらしさを体感してもらうために、あわせてマイカーの公園内への乗り入れを減らして自然環境を守るためにも、バス停（箕面川ダム）新設による公共交通の利便性の改善が重要だと考えてます。

（箕面川ダムバス停から、政の茶屋園地・ビジターセンターへは徒歩約10分、またエキスポ90箕面記念の森へも約40分に短縮します。）

以上

(追記)

#### 箕面国定公園(明治の森自然休養林)の来園者数

現在、車及び徒歩にて訪れる来園者数は、エキスポ90箕面記念の森には年間約3万人、ビジターセンターには年間約2万人の実績となっています。また、ビジターセンターと隣接する政の茶屋園地への来訪者は、年間約10万人と推定されています。

#### バス停(箕面川ダム)の利用者予測

国定公園へのアクセスの利便性が改善される事によるバスを利用した交流人口増については、政の茶屋園地への来訪者の20%、年間約2万人を目指して、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会としても、様々な媒体を活用しながら、広くPR・広報を行いたいと考えています。

#### 地域の活性化に直結

バス停(箕面川ダム)新設により箕面国定公園へのアクセスが容易になることから、エキスポ90箕面記念の森やビジターセンターを含めて、箕面大滝を含む府営箕面公園や勝尾寺など、公園全体の交流人口増につながり、市民・府民の自然に触れ合う機会が増え、地域の活性化にも直結すると考えています。

#### \*明治の森箕面自然休養林管理運営協議会

2009年4月に、箕面大滝の北側にある国有林「明治の森箕面自然休養林」(面積約582ヘクタール、林野庁では全域をレクリエーションの森に指定)を対象として、市民団体が中心となり、行政(国・大阪府・箕面市)との協働の関係により、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会が、下記の委員の構成により発足しました。

(委員)

NPO法人自然とみどり、NPO法人日本森林ボランティア協会、NPO法人みのお山麓保全委員会、清水谷を守る会、箕面観光ボランティアガイド、箕面こう楽会、箕面里山工房、みのお里山ふれあいプラットフォーム、箕面ナチュラルリストクラブ、箕面の森観察会、箕面の山パトロール隊

(行政委員)

大阪府北部農と緑の総合事務所、(独)森林総合研究所関西支所、箕面市教育センター、箕面市教育委員会生涯学習部文化財保護担当、箕面市農とみどり政策課、箕面森林環境保全ふれあいセンター、箕面ビジターセンター(府みどり公社)

(相談役)

京都大阪森林管理事務所(林野庁)

以上

道標類の現状把握と整備について（案）

2010年7月15日  
事務局

1、道標等の現状把握（実態調査）

①、調査実施の対象エリア

国有林・箕面公園・山麓部を含めて、箕面の山の全域で実施する。

\* 箕面公園管理事務所にも協力要請

②、情報の共有化

アウトプットできた情報は、行政（箕面市・大阪府・森林管理事務所）との情報の共有化を図り、将来的には、データ化・マップ化を検討する。

③、地形図へ落とし込む情報

1) 自然歩道

2) 道標（みちしるべ）

3) 救急ポイント

4) 案内板（地図など）

5) トイレ

6) 東屋

7) ベンチ&テーブル

\* 2) ~ 7) . . . 写真データを収集

④、実態調査実施グループ

1) NPO山麓委員会「道標等の整備（仮）」部会

2) 箕面の山パトロール隊、みのお里山ふれあいプラットフォームなど

3) ビジターセンター、箕面公園管理事務所など

2、道標等の整備について

①、課題の整理

各団体からの意見の整理

②、短期的に改善すること

1) 案内板（地図入り）の汚れの清掃など

（例）こもれびの森、才が原林道など

2) 必要に応じて応急的な対応

（例）道標のプロトタイプ作成⇒簡易な道標設置

③、中・長期に改善すること

1) 予算と資金確保状況に応じた改善実施

・行政等による設置

・ファンド等、助成金の活用

・サポーター募集による資金確保

3、その他

以上

## 箕面国定公園 ハイキング道の道標調査

## — 自然研究路 2 号線～8 号線 —

箕面ビジターセンター

6月の定期巡回調査で2号線～8号線について道標の過不足、問題点等の調査を行ったので以下に報告する。

なお研究路7号線は、落石等の危険があり、現在閉鎖中のため巡回は行わなかったが、入り口上下2箇所の道標は確認した。

## 結果

1. 自然研究路2号線から7号線については、2009年度までに新たに最新の地図入りの案内板および道標（研究路名、方向を示す）が設置されて充実した。8号線については同様のものが早急に設置されるよう望まれる。  
写真1-1、2参照
2. 里山プラットフォームが設置した案内板が研究路に散見されるが、研究路道標の分かりにくい部分を補完して、地図を持たないハイカーには貴重な情報となっている。  
写真2-1、2参照
3. 緊急ポイント（箕面市作成の「箕面の森ハイキングマップ」に示されている）が整備されたことで、地図を持って歩けば、現在地がこれまで以上に明確に把握できるようになった。  
写真3参照
4. 細かい問題点もいくつか見られたので、以下に示す。
  - (1) 写真1に示す道標が、研究路入り口から少し奥まったところに設置されているものがあり、分かりにくい。（研究路2号線、百年橋 研究路6号線、ダム林道との分岐）
  - (2) 紛らわしいサインや古くなった地図、案内板などが残っており、必要性を検討すべきである。（研究路2号線入り口）  
写真4参照
  - (3) 緊急ポイントの破損したものや、位置が地図上（箕面の森ハイキングマップ）と異なるものがある。（B6破損、B7位置変更）

## まとめ

自然研究路の道標はおおむね分かりやすく良好であるが、入り口から少し離れた見にくい位置に設置されている箇所もあり、8号線に新設する際には注意が必要である。また分岐点や里山道と交差する場所には、今後も里山プラットフォームの道標設置をお願いしたい。





写真1-1 自然研究路2号線(百年橋奥)



写真1-2 自然研究路4号線分岐(F7)



写真2-1 自然研究路6号線入り口付近



緊急ポイント 里山プラットホーム道標

写真2-2 自然研究路8号線(J5)



写真3 自然研究路8号線(J-6)



森林管理署関連の地図、解説板

写真4 自然研究路2号線入り口(百年橋付近)

# 清水谷シカ害防御実施計画について

2010/7/15

## 提案要旨

清水谷は箕面地域において滝道と共に最も大切な場所であります。景観に優れ、植生が豊かなこの地域に近年、シカの食害が急増しています。その度合いは他地域と較べて著しいとは言えませんが、清水谷を北摂地域のシーズバンクとして位置づけると、甚大な被害を被っていると言えます。農産物、植林の被害については、損害金額が把握でき被害者からの申告があり、各行政機関で対処されています。野生の草木木本の被害については、その重大性について一般社会の認識が低いのが現状であると思われれます。そのため、防護施設を設置するのに必要な資金、人材等の確保が難しいと考えられます。自然環境の保護について先導的な役割を担っている本協議会で、この問題に取り組みたく、分科会を設置し具体策を練り上げることを提案いたします。

分科会の設置

1. 防護施設の種類の設置  
①シカ用の網を敷設 ②電撃線を敷設 ③道に簀の子を敷く等
2. 設置場所  
12箇所の案を貼附している。確保できる資金額に応じ設置場所を決める。
3. 多年度実施計画
4. 資金の確保
5. 労力の確保
6. 施工技術の検討
7. 広報  
①清水谷を通る人への説明板 ②関連機関への広報
8. その他

提案者 清水谷をまもる会

清水谷

清水谷シカ害防網設置箇所

番号	入口からの距離	左右岸	優先順位	植生環境	全長(m)	道沿い(m)	山幅道に直角(M)	山幅道に平行(M)	記事
1	0-30	右岸	B	キツリフネウメバキマキグサエノキグサシヤマダコボウ	60	30	0	30	
2	160-240	右岸	A	ルマキグサウツクシウキツリフネウメバキマキグサシヤマダコボウ	140	70	0	70	
3	270-360	右岸	A	ミマルミノヤマコボウハシヨウスルハゴシダキツリフネウメバキマキグサ	240	90	30+30	90	
4	240-380	左河川敷	B	モンスルシヤマダコボウ	180	140	20	140	道端から河川敷の縁まで
5	425-435	道沿い	A	イチリンソウキンキエンゴサク	15	15	-	-	試行実施済み
6	640-670	右岸		シカ	70	30	0	30	道端から河川敷の縁まで
7	680-720	右岸		ハナウドグジャクシダ	140	40	30+30	40	
8	860-920	右岸		リュウキュウマカキツル類カトラノ	180	60	30+30	60	
9	810-840	左河川敷	B	エンレイウ	120	30	30+30	30	河川敷の縁敷設困難?
10	1020-1060	右岸		ウリノキアブデマリ台形地	140	40	40+40	20	
11	1070-1120	右岸		アホノウミズマキグサ	160	50	30+30	50	
12	1200-1310	河川敷	B	マキグサミズミヨウカマツバサハナウド	300	110	40×2	110	河川敷敷設難?
13									
				合計延長	1,745	705			

- 注1. 12箇所の所要の網の全長は約1,750mうち道沿い部分は約710mとなる。(道の両側に敷設すると、道に沿って網は4筋となる。)
- 注2. 囲い込む範囲は道端から山腹30mの場所とする。この範囲は植生を維持するのに必要な最小の範囲であるとする。
- 注3. 道端の網は電撃線に替えることも検討する。理由は①費用が少ない ②設置およびメンテナンスが容易である。
- 注4. 網の取り付けは①山腹側は杭および樹木 ②道端側は杭となる。石ころが多い場所であるので杭打ちが難しい。
- 注5. 河川敷内の設置は増水時に流損失するので難しい。
- 注6. 対象の動物は鹿とする。兎には目の細かい網が必要であり、猪は地面を掘るので対策が難しい。
- 注7. 施設の設置、メンテナンスについては、永年月に渡って効果的な方策を追求することとする。

## 1、明治の森箕面自然休養林のPR、普及啓発

箕面市周辺で行われる各種イベントに出展、協力し、同休養林のPR、活用のための普及啓発を積極的に行います。

\*2010年10月24日(日)山とみどりの市民イベント(かやの広場)など



\*昨年は、苗木育ての活動とシカ害対策研究フォーラムを実施

具体的な普及啓発活動の検討

- ①、オオクガワタの棲める森づくりの為に苗木育て
- ②、ビジターセンターのPR  
パネル展示、チラシの配布
- ③、シカ害対策について  
(案)休養林、山麓部を含めて実施例のパネル展示

## 2、明治の森箕面自然休養林の環境整備・保全

「箕面の山パトロール隊」の主催による山地美化を目的とした「箕面の山大掃除大作戦」に協力します。



12/4(土)

\*昨年の協力団体

- 共催：箕面市・箕面市不法投棄防止対策連絡協議会  
明治の森箕面国定公園保護管理運営協議会
  - 協賛：阪急電鉄(株)・阪急バス(株)・みのお山荘「風の杜」  
大塚製菓(株)大阪支店千里出張所
  - 後援：箕面市教育委員会・箕面市社会福祉協議会・タッキー816みのおIFIA  
NPO法人みのお山麓保全委員会・箕瀧案・得々うどん新箕面店
- 昨年 回収量4.27トン 参加317名 \*雨天

\*別途、パトロール隊専用 回収ゴミ置き場所の看板2ヶ所設置済み

具体的な協力についての検討

- ①、団体としての参加  
参加メンバーの集約
- ②、共催としての参加  
資金的援助など

## 勝尾寺園地における生垣の撤去及び芝生広場刈払い

1. 実施場所 勝尾寺園地芝生広場周辺（別添図面参照）
2. 実施時期 平成22年7月下旬から8月末（予定）
3. 契約方法 2者の業者から見積を徴して随意契約
4. 実施内容 生垣の掘取り・撤去、芝生広場刈払い

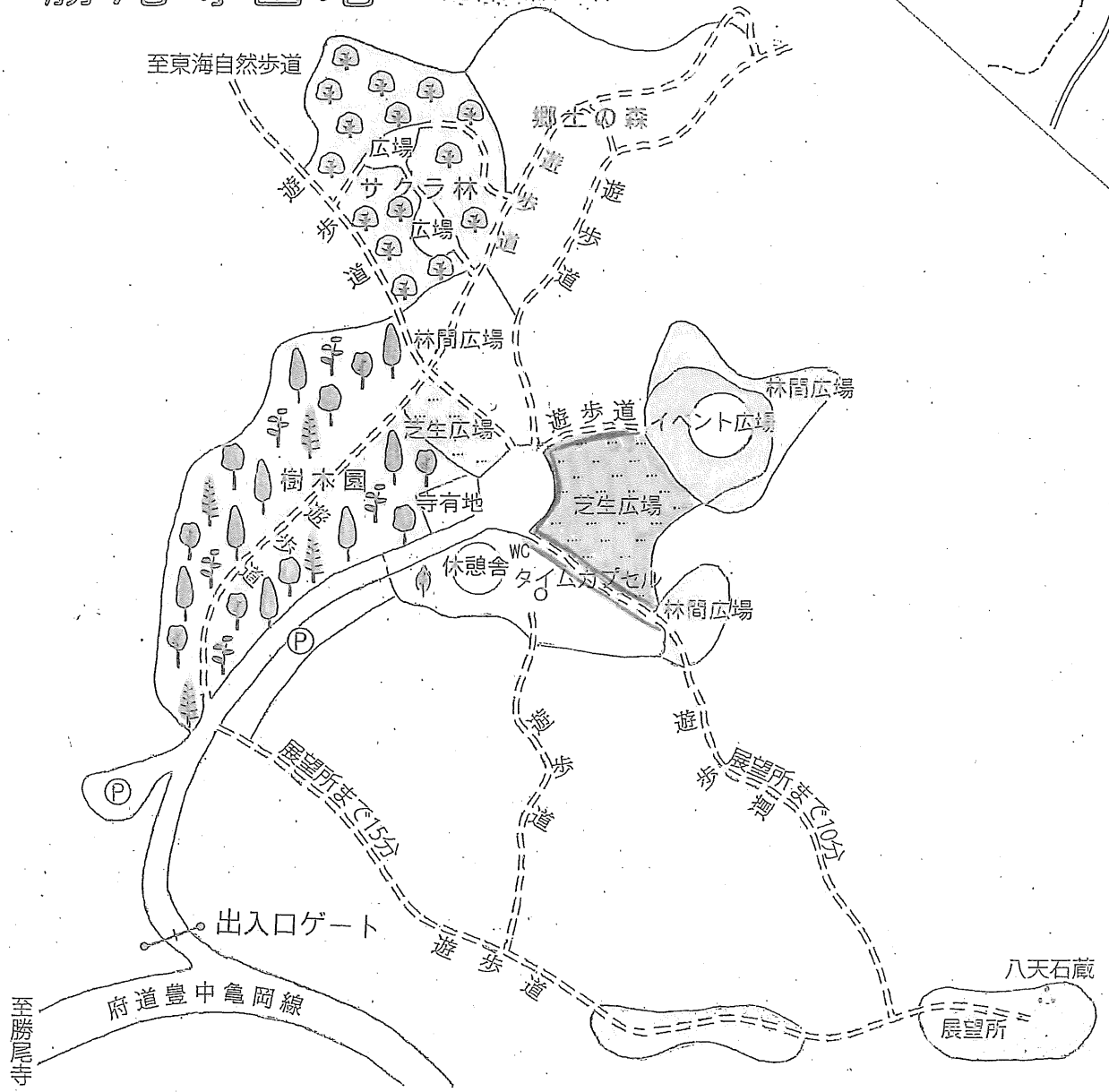
京都大阪森林管理事務所

勝尾寺園地における生垣の撤去及び芝生広場刈払い

（京都大阪森林管理事務所・箕面森林事務所）

勝尾寺園地

連合大阪の森



林班番号 267-279-281 京都大阪所

凡例

公園整備箇所位置図

す  
せ  
そ  
た  
ち  
う  
50.0  
-129.5

⑩生垣撤去



芝生広場

見通しを悪くしている  
生垣を撤去



芝生広場



イベント広場入口